

新型コロナウイルスを用いた代替消毒方法の有効性評価について（報告の概要①）

令和2年6月

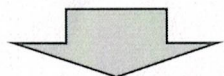
新型コロナウイルスに対する代替消毒方法の有効性評価に関する検討委員会

背景

- 新型コロナウイルス対応で消毒用アルコール等の需給が逼迫
- 一般家庭等で入手可能なもののうち、アルコール消毒液の代替になり得る候補物資の選定と有効性評価が急務

政府が既に推奨している消毒方法

- ① 熱水
- ② アルコール消毒薬
- ③ 塩素系漂白剤



代替可能な「候補物資」を検討

界面活性剤

次亜塩素酸水

新型コロナウイルスに対する代替消毒方法の有効性評価に関する検討委員会

委員構成

委員長：

松本哲哉 国際医療福祉大学教授
(日本環境感染学会副理事長)

委員会の構成：

国立感染症研究所、国立医薬品食品衛生研究所
大阪大学、鳥取大学、関係団体他の委員

関係省庁等：厚生労働省他

事務局：製品評価技術基盤機構、経済産業省

検証協力機関

1. 国立感染症研究所
2. 北里大学
3. 帯広畜産大学
4. 鳥取大学
5. 日本繊維製品品質技術センター

候補物資の消毒対象

物品

※新型コロナへの消毒効果（有効性）の検証（安全性は含まない）

※手指や皮膚、空間噴霧は検証の対象外